

輸出事業計画

※申請者名：山形県加工食品輸出協議会、品目：煎餅・餅・乾燥味噌汁の具

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・国内人口の減少が進む中、山形県の食文化の保護・継承・発展のためには海外販路のさらなる拡大が不可欠との考えから協議会を設立
- ・海外での健康志向の高まりにより、日本産の高品質な食品への需要が拡大する中、豆類や米を原料とした加工食品は成長が期待される分野
- ・現状ではインドでの日本食品関連ビジネスは極めて限定的であるものの、同国は世界最大のベジタリアン人口を抱えており、山形に伝わる伝統的な食文化や発酵食品、こだわりの農産加工品など、特色のある食材が新たな商機を創出できると考えられる

【品目共通の課題】

- (製造) 日本国内の労働力不足に伴い、日本全体の生産力の低下が進み、コストも含め原料調達も難しくなっている
- (販売) 国内市場における、新規参入事業者の増加やグローバル化の進展により日本国内他産地産との競争が年々激化

【煎餅の課題】

- (加工) 従来から利用している機械では、インドのハラールの規制に対応することが困難
- (物流) パッキングや包装も含め商品自体が輸出に耐えうる商品ではなく、一部の商品で品質低下

2. 輸出事業計画の取組内容

【品目共通の取組内容】

- (製造) 日本国内だけではなく、海外での煎餅や餅などの製造も検討しながら、生産力向上に取り組んでいく。
- (販売) 他産地との差別化を図るため、まだまだ参入できていないインドなどに販売拠点をつくり、独自ルートを開拓していく。

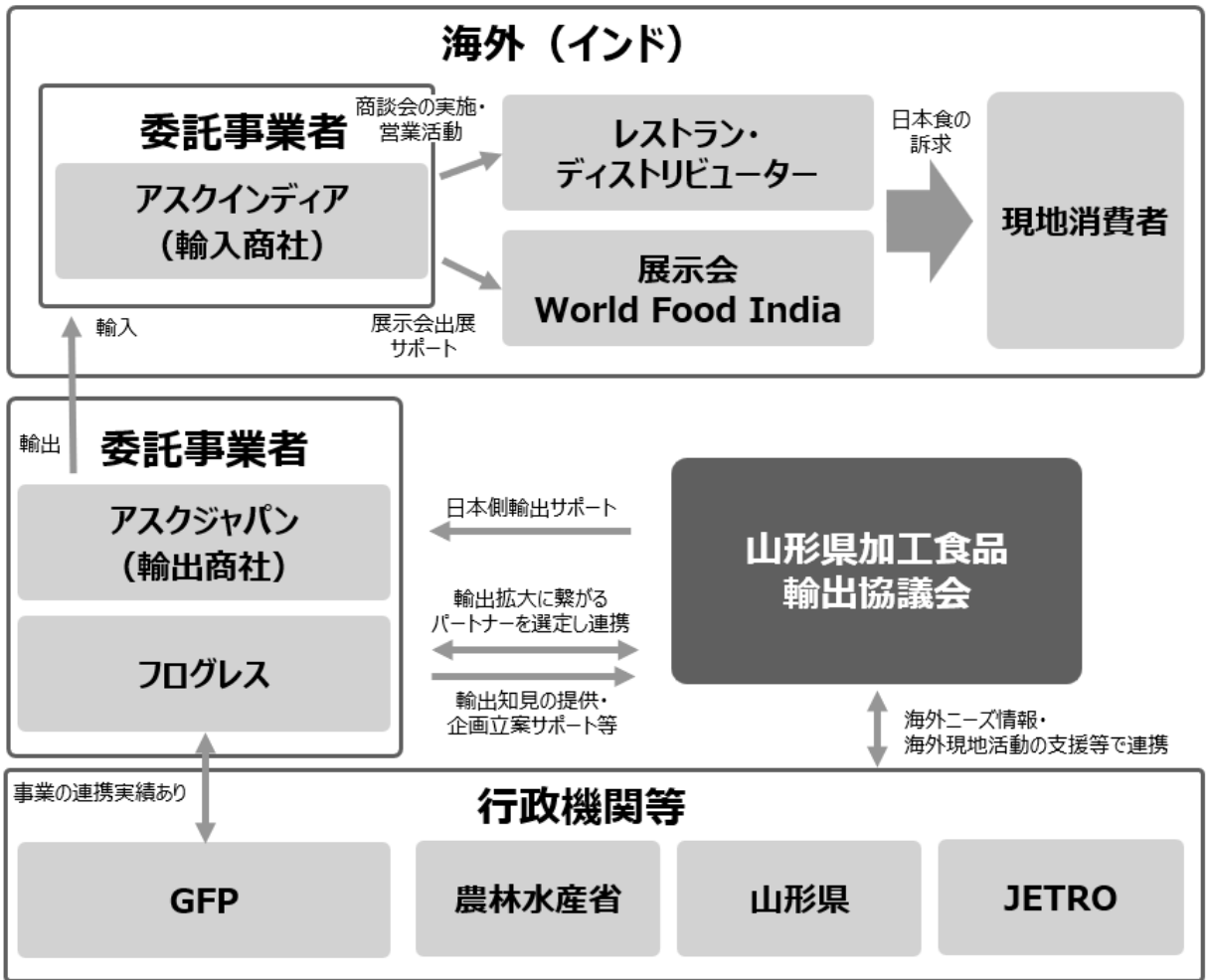
【煎餅の取組内容】

- (加工) 製造面では、インドのハラールの規制に対応するため、専門家のアドバイスを受けながら、新規加工製造機器の選定及び導入を行う。
- (物流) 輸出パートナーとの連携を強化し、品質の保持、並びに、輸送の円滑化の仕組みづくりを進めていく。

輸出事業計画

※申請者名：山形県加工食品輸出協議会、品目：煎餅・餅・乾燥味噌汁の具

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 (令和6年度)	目標年 (令和10年度)	備考
山形県地区	輸出額(千円)	-	400,000	
	輸出量 (t)	-	1,950	
	輸出先国	-	インド	